

令和 7 年

加茂市教育委員会 6 月定例会会議録

令和 7 年 6 月 3 日 開会

令和 7 年 6 月 3 日 閉会

加茂市教育委員会

令和7年加茂市教育委員会6月定例会会議録

令和7年6月3日、加茂市役所5階第1委員会室において、令和7年加茂市教育委員会6月定例会を開催した。会議の概要は、次のとおりであった。

1 会議に付した事件

- (1) 会議録署名委員の指名
- (2) 会期の決定
- (3) 報告
- (4) 議案審議

第19号議案 統合中学校校舎等の選定及び学校給食センターの新設について

- (5) 次期教育委員会期日の決定

2 出席委員（5名）

教育長 山川雅巳君 1番 乙川智子君 2番 田邊俊樹君
3番 藤田和子君 4番 太田正純君

3 欠席委員（0名）

4 説明のため出席した者（9名）

庶務課長 宮澤康夫君
学校教育課長 阿部一晴君
社会教育課長民俗資料館長 伊藤秀和君
スポーツ振興課長 靱山太君
庶務課課長補佐庶務係長兼小中学校統合準備室長 長澤敦君
学校教育課課長補佐学事係長 細島優子君
社会教育課課長補佐社会教育係長 波塚一朗君
社会教育課課長補佐公民館長 長谷川健一君
スポーツ振興課課長補佐スポーツ振興係長 遠山一貴君

5 傍聴者（0名）

6 会議の概要

午後1時30分 開会

〔開会の宣言〕

○教育長(山川雅巳君) 令和7年加茂市教育委員会6月定例会の開会を宣言する。

〔会議録署名委員の指名〕

- 教育長（山川雅巳君） 3番 藤田和子君を指名する。

〔会期の決定〕

- 教育長（山川雅巳君） 会期は本日1日に決定する。

〔報告〕

- 庶務課長（宮澤康夫君） 「第75回全国都市教育長協議会定期総会・研究大会川越大会について」を報告する。

令和7年5月15日(木)及び5月16日(金)に埼玉県川越市ウェスタ川越で開催された「第75回全国都市教育長協議会定期総会・研究大会川越大会」に、山川教育長及び宮澤庶務課長が出席した。

これに先立ち、5月14日(水)には藤田市長、山川教育長、宮澤庶務課長が文部科学省大臣官房文教施設企画・防災部を訪問し、加茂市における小中学校適正化の取組について担当職員と情報共有を行った。加茂市では学校施設の改修整備を予定していることから、国庫補助制度の活用等について助言を受けたところである。

第75回全国都市教育長協議会定期総会・研究大会川越大会においては、山川教育長が加茂市における小中学校適正化の取組について事例発表を行った。

- 庶務課長（宮澤康夫君） 「令和7年度関東甲信越静岡市町村教育委員会連合会総会及び研修会（長野大会）について」を報告する。

令和7年5月30日(金)に長野県長野市ホクト文化ホールで開催された「令和7年度関東甲信越静岡市町村教育委員会連合会総会及び研修会（長野大会）」に、山川教育長、太田教育委員、宮澤庶務課長が出席した。総会では決算報告等が行われ、研修会では多様な講演を聴講し、大変有意義な学びを得た。得られた内容については、出席できなかった教育委員にも共有する予定である。来年度は新潟県上越市において開催される予定である。

- 委員（太田正純君） 文部科学省初等中等教育局職員による講話では、次期学習指導要領策定に向けた最新情報等を知ることができ、今後の活動に生かせる内容であったと感じている。

- 社会教育課課長補佐公民館長（長谷川健一君） 「2025 二十歳を祝う会について」を報告する。

令和7年5月3日（土・祝）13時30分から、加茂文化会館大ホールにて「2025 二十歳を祝う会」を開催した。対象者数は256人、出席者数は164人であり、出席率は64.1%であった。対象者数は256人、出席者数は164人で、出席率は64.1%であった。トラブルもなく、円滑に実施することができた。

- 社会教育課長民俗資料館長（伊藤秀和君） 「令和7年度第1回文化財調査審議会について」を報告する。

令和7年5月12日(月)15時00分から、「令和7年度第1回文化財調査審議会について」

を開催した。主な議事は、令和7年2月から4月までの民俗資料館実施事業の報告及び令和7年度民俗資料館事業についてであり、いずれも承認を得た。委員から寄せられた意見や要望を踏まえ、今後の活動に生かしていきたい。

○委員（乙川智子君） 加茂市史編纂事業は今年度完了する予定であるが、市の指定文化財とはなっていないが、貴重だとされている建物、物品等については、今後も継続して調査が行われるのか。また、加茂市史に掲載されたものに変化があった場合、記録として残してもらえるのか。

○社会教育課長民俗資料館長（伊藤秀和君） 社会教育課にご相談いただき、専門家と協力して調査を行い、必要に応じて記録に残す業務は、今後も継続して実施する。

○社会教育課長民俗資料館長（伊藤秀和君） 「令和7年度第1回市展運営委員会議について」を報告する。

令和7年4月23日(水)13時30分から、加茂市役所301会議室にて「令和7年度第1回市展運営委員会議」を開催した。主な議事は、今年度第57回市展の開催についてであり、今年度は10月19日(日)を審査日とし、市展開催日を11月1日(土)から11月5日(水)までとすることに決定した。委員から寄せられた意見や要望を踏まえ、市展の運営に生かしていきたい。

○庶務課長（宮澤康夫君） 「5月教育行政会議について」を報告する。

令和7年5月28日(水)9時30分から、教育行政会議を開催した。令和7年度の重点事業を管理シートに起こし、所管課毎に確認した。

○庶務課長（宮澤康夫君） （「その他」として、）「加茂市議会6月定例会に上程する議案等について」を報告する。

加茂市議会6月定例会は令和7年6月12日(木)に開会する。今回の市議会では、学校用務員（会計年度任用職員）1名を採用するための経費を含む補正予算を上程する予定である。

〔議案審議〕

○教育長（山川雅已君） 「第19号議案 統合中学校校舎等の選定及び学校給食センターの新設について」を上程する。

○庶務課課長補佐庶務係長兼小中学校統合準備室長（長澤敦君） 統合中学校の校舎選定及び学校給食センターの新設については、加茂市公共施設再編アクションプラン（案）の中でも重要な柱であり、将来の学校教育環境や地域全体の公共施設運営に大きく関わるテーマである。

まず背景であるが、加茂市では人口減少や少子化の進行、公共施設の老朽化が深刻な課題となっている。その中で、教育施設の再編、とりわけ中学校の統合は避けて通れない課題である。本年4月に公表したアクションプラン（案）では、令和10年度に加茂市内の中学校を統合し、校舎として若宮中学校を活用することを推奨している。また、学校給食についても、現行の6か所の調理場を集約し、

新たな学校給食センターを整備する方向性を示している。

統合中学校の校舎選定の理由は次のとおりである。統合年度に必要な教室数は通常教室13室、特別支援教室4～5室である。加茂中学校は通常教室が1室不足し、特別支援教室も足りないため増築が必要となる。一方、若宮中学校は通常教室13室、特別支援教室5室を確保でき、計算上では増築の必要がない。

バリアフリー設備についても、若宮中学校は1階に車椅子対応の特別支援教室を備え、多目的トイレ等も設置済みである。スクールバスロータリーや駐車場整備の面でも、旧教員住宅跡地やプール除却により十分なスペースを確保できるが、加茂中学校ではそれが困難である。さらに、スクールバス乗車時間、防災面（洪水・土砂災害）を総合的に考慮し、若宮中学校が優位と判断した。

なお、中学校新校舎建設については、令和22年を目標に市所有地を候補として検討を進める。加茂市陸上競技場や加茂中学校跡地などが例として挙がっており、他の公共施設との複合化、ICT環境の高度化、防災・ユニバーサルデザインへの対応など、次世代型の学校づくりを目指す。そのため「基本構想策定委員会（仮称）」を設置し、学識経験者、保護者、地域代表、生徒など多様な立場の意見を反映させる予定である。

続いて、学校給食センターの新設についてである。現在、市内6か所の共同調理場は、老朽化や耐震性不足、アレルギー対応未実施など、多くの課題を抱えている。6施設中4施設は旧耐震基準であり、設備の経年劣化も進み、雨漏りや床・壁の損傷、衛生区域の不明確さなどが衛生管理上の大きなリスクとなっている。また、全施設で食物アレルギー対応ができず、対応が必要な児童生徒は41人に上る。人員確保や財政負担も大きく、現行体制の維持は困難である。

新給食センターでは、最新のドライシステムを導入し、調理室の衛生性・安全性を大幅に向上させる。アレルギー対応専用調理室も設置可能とし、除去食や代替食の提供を実現する。さらに、集約化により人員配置や運営コストの効率化を図る。

施設規模は1,500食対応、延床面積約1,500㎡を想定し、総事業費はおよそ17億円、公設民営方式を基本とする。建設候補地は千刈1丁目の旧県営住宅跡地（約2,577㎡）を検討中であり、法令上の整備可能性、インフラ整備状況、配送時間のバランスを考慮した結果である。スケジュールとしては、令和12年度の稼働を目指し、既存調理場の段階的縮小と並行して準備を進める。

これらの取組は、今年度中の加茂市公共施設再編アクションプラン完成時期を待っている間に合わないため、教育委員会として先行着手する方針としたい。

○委員（乙川智子君） 中学校新設は、令和22年度「開校」を目標とするのか。

○庶務課課長補佐庶務係長兼小中学校統合準備室長（長澤敦君） 中学校の新設については、令和22年度開校を目標としている。なお、若宮中学校の改修にあたっては、国の交付金を活用する予定であり、その場合は少なくとも10年間は現施設を継続して活用する必要がある。この期間中には、他の公共施設の整理や改修な

ど、全体の公共施設マネジメントの進行も想定されている。ただし、今後のアクションプランの進行状況や市の財政状況を踏まえながら、中学校の新設については、できるだけ早い時期での実現が可能となるよう、引き続き検討を重ねていく。

- 委員（乙川智子君） 中学校新校舎の建設期間はどの程度必要か。
- 庶務課長（宮澤康夫君） 建設期間については、工事の規模や内容、他の公共施設との複合化の有無などにより異なるが、着工から完成までおおむね3年間を見込んでいる。令和22年度の開校を目指す場合、令和19年度頃の着工が想定される。ただし、その前段階として設計や各種調査などが必要となるため、完成の7・8年前から計画的に準備を進めていかなければならない。また、学校の新設にあたっては、「どのような学校を目指すのか」といった教育的な構想をしっかりと描き、それをもとに施設整備を行うことが重要である。
- 委員（田邊俊樹君） 中学校新校舎の建設地決定の時期はいつになる予定か。
- 庶務課長（宮澤康夫君） 令和22年度開設とすれば、令和14年度までには決定したい。
- 委員（田邊俊樹君） 若宮中学校の駐車場整備は、統合までに間に合うのか。
- 庶務課長補佐庶務係長兼小中学校統合準備室長（長澤敦君） 今年度中に、若宮中学校の全体的な改修計画を策定し、公表する予定である。その中で、統合前に実施すべき工事と、やむを得ず統合後に行う工事を整理し、計画的に進めていく。なお、スクールバスのロータリーおよび駐車場の整備については、統合前に完了させるべき工事として位置付けており、優先的に着手したい。駐車場については、150台程度の収容が可能なスペースを想定している。
- 委員（田邊俊樹君） 統合までに実施すべき工事とは何か？
- 庶務課長（宮澤康夫君） スクールバスのロータリー及び駐車場の整備のほか、必要な教室を確保するための改修工事、雨漏りの修繕工事、トイレの洋式化、LED照明への更新等を想定している。
- 委員（太田正純君） 工事を実施すれば、教育活動に支障を生じるのではないか。
- 庶務課長（宮澤康夫君） 夏休みなどの長期休業期間を最大限活用するなど、教育活動への影響をできる限り抑えるよう配慮するが、工事の内容によっては一部支障が生じる可能性がある。そのため、施工業者と十分に協議を行い、安全面や授業への影響を最小限にとどめるよう調整を進めていきたい。
- 委員（田邊俊樹君） 県に要望している道半交差点の改修及び若宮中学校までの道路拡幅について、進捗状況や県の対応に何か動きがあれば、情報提供をお願いしたい。
- 庶務課長（宮澤康夫君） 本件については、市として10年以上前から継続的に県へ要望しており、県側もその必要性については十分に認識しているものと考えている。今後も引き続き、必要性を丁寧に伝えながら、強く要望を続けていく。
- 委員（藤田和子君） 若宮中学校の敷地の一部（校舎裏手）が、土砂災害警戒区域に指定されているが、その対応策はあるのか。

- 庶務課課長補佐庶務係長兼小中学校統合準備室長（長澤敦君） 加茂市のハザードマップでは、1,000年に1度の大雨を想定した災害リスクが示されており、最大規模の災害を前提として避難を促すものと認識している。また、統合により生徒数が増加することから、現行の避難計画の見直しが必要であり、その内容に基づいた実践的な避難訓練を確実に実施していくことが重要かつ現実的であると考えている。
- 教育長（山川雅巳君） 給食センター建設候補地について、防災の観点から詳しい説明を求める。
- 庶務課課長補佐庶務係長兼小中学校統合準備室長（長澤敦君） 建設候補地に面する国道の浸水深は、1,000年に1度の大雨を想定した最大規模で、加茂川の氾濫により0.5～3.0メートルと見込まれている。ただし、候補地は国道より約1メートル低い位置にあるため、ハザードマップ上では3.0～5.0メートルの浸水想定区域となっている。一方、100年に1度の規模である「計画規模降雨」に基づく想定では、同地の浸水深は0.5～3.0メートルであり、建築上の条件としては大きな支障はないと判断している。
 まず、この土地を国道の高さまで盛土し、浸水想定を0.5～3.0メートル程度の区域に引き下げることを想定している。さらに、給食センターはトラックによる搬入出が必要な施設であり、コンテナ搬送の高さに合わせて、盛土の上にさらに約1メートルの床高を確保する構造とすることで、仮に浸水が発生した場合でも、建物内部への大きな被害は回避できると見込んでいる。今後は、水害リスクを十分に踏まえた構想を具体化し、その内容を設計・施工へと反映させていきたいと考えている。
- 委員（太田正純君） 防災の観点は重要であるため、丁寧に市議会・市民へ説明すべきである。
- 庶務課課長補佐庶務係長兼小中学校統合準備室長（長澤敦君） そのように努めたい。
- 委員（田邊俊樹君） 急に給食が提供できなくなった場合は、どのように対応しているのか。また、給食センターを新設した後の対応は変わるのか。
- 庶務課課長補佐庶務係長兼小中学校統合準備室長（長澤敦君） 加茂市教育委員会では、急な給食停止に備えて非常食「救給カレー」570食を備蓄している。また、県の学校給食会でも同様の非常食を大量に備蓄しており、緊急時には速やかに提供できる体制を整備している。今後、給食センターを新設した後も、こうした備蓄体制は継続することを想定している。
- 委員（太田正純君） 給食センター新設について、加茂川だけではなく、大皆川の洪水による浸水は大丈夫か。
- 庶務課長（宮澤康夫君） 大皆川の洪水による浸水についても、最大規模の想定では0.5～3.0メートルの浸水が見込まれる区域に該当しているため、加茂川の場合と同様の対策を講じることで、安全性は確保できると考えている。

- 委員(太田正純君) 開校記念事業は、中学校の行事として開催するものなのか。それとも市が主催する事業として実施するものなのか。
- 庶務課課長補佐庶務係長兼小中学校統合準備室長(長澤敦君) 今後検討していきたい。
- 委員(藤田和子君) 中学校や小学校の統合にあたっては、子どもたちが何らかの形で参画できる機会があっても良いのではないか？
- 庶務課課長補佐庶務係長兼小中学校統合準備室長(長澤敦君) 子どもたちを含め、市民の皆さまにも統合に関わる取り組みに参画していただけるよう検討を進めている。例えば、新しい校名や校歌、校章の決定に関わるプロセスをはじめ、閉校記念事業やPTAの再編などにおいても、児童生徒や地域の皆さまの意見を反映できるようにしていきたいと考えている。
- 委員(田邊俊樹君) 本件について、市民向けの説明会などを開催する予定はあるのか。
- 庶務課長(宮澤康夫君) 本件について、個別に説明会を開催する予定は現時点では考えていない。現在市内各地で開催している公共施設再編アクションプラン(案)の説明会の中で、あわせて説明することを考えている。なお、本件は総合教育会議を経て市議会へ報告した後、速やかに市ホームページで公表し、広報かもや市長定例記者会見なども活用して広く周知を図りたい。
- 教育長(山川雅巳君) 「第19号議案 統合中学校校舎等の選定及び学校給食センターの新設について」は議案どおり決定してよろしいか諮る。
一異議なし一
- 教育長(山川雅巳君) 「第19号議案 統合中学校校舎等の選定及び学校給食センターの新設について」は議案どおり決定する。

〔次期教育委員会期日の決定〕

- 庶務課長(宮澤康夫君) (別紙 行事予定により) 説明。
一異議なし一
- 教育長(山川雅巳君) 次期教育委員会7月定例会を7月1日(火)13時30分から開催することにする。

〔その他〕

- 教育長(山川雅巳君) 全体を通して何かありますか。
- 委員(田邊俊樹君) 教育委員会による小中学校の視察において、限られた時間の中で複数の学校や学級を視察する際、どのような視点を持てばよいのか分からない。
- 教育長(山川雅巳君) 私も、限られた時間で学校活動の全てを把握することは難しいと考えている。子どもたちや教員の雰囲気など、教育委員それぞれが感じたことを率直にご教示願いたい。

- 学校教育課長（阿部一晴君） 教員出身の教育委員もいれば、そうでない教育委員もいる。全員が同じ視点を持つ必要はなく、委員それぞれの得意分野から多角的に視察していただくことが重要である。不明な点があれば、気軽に質問していただきたい。
- 委員（乙川智子君） 若宮中学校を統合中学校として活用するにあたり、学校行事開催時には市内全域から保護者が来訪するため、若宮中学校敷地内の駐車場だけでは不足することが想定される。近隣の公共施設の駐車場を事前に確保し、周知するなどの対策が必要であると考えている。
- 教育長（山川雅巳君） 今後の課題として、委員の助言を踏まえ、検討していきたい。

〔閉会の宣言〕

- 教育長（山川雅巳君） 令和7年加茂市教育委員会6月定例会の閉会を宣言する。

午後3時35分 閉会

会議録作成者

庶務課課長補佐兼

小中学校統合準備室長 長澤 敦

この会議録が正当であることを証し、新潟県加茂市教育委員会会議規則（昭和63年教育委員会規則第5号）第32条第3項の規定により署名する。

加茂市教育委員会教育長

山川 雅巳

加茂市教育委員会委員

藤田 和子